

## 砧南小学校6年生が育てた花を届ける 児童主体プロジェクトへの支援のお知らせ

### ソニー銀行の寄贈がつないだ地域の輪

ソニー銀行株式会社（代表取締役社長：南 啓二／本社：東京都千代田区／以下 ソニー銀行）は、世田谷区立砧南小学校（校長：峯岸 敦子／東京都世田谷区／以下 砧南小学校）の6年生157名による、地域のかたや施設にお花を届ける「花でつながぎぬなんスマイルプロジェクト」を物品寄贈により支援したことをお知らせします。

ソニー銀行は2025年11月、5年生（現6年生）を対象に、「自分以外のためになるお金の使い方」をテーマとした金融教育「GIVING for FUTURE」の授業を実施しました。同授業では、「お金の役割」や「お金の使い方」などについて学び、グループワークでは地域社会とその未来を考える機会を提供しました。授業内のワークでは、児童たちは「『まちのためになること』で応援したいことは？」をテーマにアイデアを検討し、「木や花を増やして、地域の人が交流する場と機会をつくりたい」や「障がいのあるかたも自由に遊べて楽しめる公園をつくりたい」といった意見が出されました。

こうした学びを通じて、児童たちの本プロジェクトへの意欲が一層高まり、「地域のかたに感謝を伝え、街を花で綺麗にしたい」という想いのもと、取組が進められてきました。

本プロジェクトは、学年の児童全員が役割分担を行いながら推進してきました。6年生は、プロジェクトリーダーのもと、「園芸部」「デザイン部」「環境整備部」「広報部」「営業部」の5つの部に分かれ、花の選定・育成から配布計画、広報活動に至るまで一連のプロセスに主体的に取り組んでいます。

育てる花については、「育てやすさ」や「花の寿命」、「花言葉」などの観点から児童たちが比較検討を行い、マリーゴールドを選定し、教室やベランダで大切に育ててきました。ソニー銀行は本プロジェクトの趣旨に賛同し、花の種や肥料など本プロジェクトに必要な資材提供を通じて活動を支援しました。

2026年5月13日（水）には、6年生はクラスごとに分かれて、学校近隣の児童館や図書館、駐在所、区民センターなど35ヶ所に訪問し、自分たちで育てた花を手渡しました。花を贈る際には、日頃お世話になっている地域のかたへの感謝の気持ちを自分たちの言葉で伝える姿が見られたほか、花とともに手渡されたリーフレットには、プロジェクトの概要や地域への想いが記載されており、地域とのつながりを意識した取組となりました。また、施設への配布に先立ち、通学路の見守りへのお礼として、地域のかたがたのお宅を一軒一軒訪問し、心を込めて花をお届けしました。

児童たちは今回の活動を踏まえ、地域からの反応を含めた振返や今後の取組について検討を進めていく予定です。

また、砧南小学校と同様に金融教育「GIVING for FUTURE」を実施した長野県佐久市立平根小学校では、2026年6月1日より児童が主体となった寄付型クラウドファンディングに挑戦しており、本プログラムを起点とした活動が広がっています。

ソニー銀行では、ソニーフィナンシャルグループ株式会社が掲げるサステナビリティ領域の6つの重点課題のうち「金融教育をすべての人々へ」「生き活きとした地域社会へ」に貢献することを目指して、今後も小学生向け金融教育「GIVING for FUTURE」に取り組んでまいります。



綺麗な花が咲いた贈呈当日のマリーゴールドポットの帯は児童たちが作成したオリジナルデザイン



学校近隣の施設に花を贈呈する様子



ベランダや教室で育てられたマリーゴールド



児童たちが作成し、花と一緒に渡されたリーフレット

以上

ソニー銀行では、銀行事業を通じた価値創出および価値創出のための基盤強化を通じた、SDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献も目指しています。



本取組により主に貢献できるSDGsの目標



ソニー銀行のサイト | 企業案内 <https://sonybank.jp/corporate/>

ウェブサイト <https://sonybank.jp/>

ソニー銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本STO協会

お問い合わせ先

ソニー銀行株式会社 経営企画部 広報・サステナビリティ推進室  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号  
Tel:03-6832-5903 E-mail:press@sonybank.co.jp